

千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.239

【発行】千葉県テレビ伝道協力会
〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2
CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072
E-mail: chiba@life-line.tv
ホームページ <https://chiba.life-line.tv/>
郵便振替：00110-8-579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会 (PBA)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台
2-1 OCCビル
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650
E-mail: mail@pba-net.com
ホームページ <http://www.pba-net.com>
でんわ世の光 03-3291-9061

“あなたのパンを水の上に投げよ”

日本長老教会 千葉みどり台教会牧師 板倉 邦雄

“あなたのパンを水の上に投げよ。ずっと後の日になって、あなたはそれを見いだそう。”
(伝道者の書 11 章 1 節)

“あなたのパンを水の上に投げる”人はいない。パンは自分が食べる物です。パンを水の上に投げたら魚が食べるか、無駄になるでしょう。しかし“ずっと後の日になって、あなたは多くのパンを受けることができる”と作者は語っているのです。

事業の成功者は「時と場所」を選ぶことなく冒険者です。この聖句は、港町における穀物の海上貿易を指して勧められた言葉です。しかし、作者の伝道者は、商業上の冒険を例にとり、私たちに、人生の知恵を与えようとしています。

それは採算を無視した、あるいは人の目には無駄と思えるような慈善の働きや施しです。それが思わぬ時に、祝福となって私たちに返ってくるのです。

エリヤという預言者がいました。“シドンの町のザレパテ村に行ってそこに住め。その村にはお前を食べさせてくれる未亡人がいる。”と神様が言われました。エリヤは村の入り口で、たきぎを拾い集める未亡人に会ったので、水を一杯求めます。“それからパンも少し”と言ったのです。すると未亡人は“家には一切れのパンもありません。つぼの底に、粉が少しと、油がわずかばかり残っているだけです。実は、それで最後の食事を作るため、たきぎを集めていたところです。それを食べたら、息子と二人、飢えて死ぬのを待つだけです。”エリヤは答えます。“心配することはありません。さあ、行って最後の食事を作りなさい。そして、私のために小さなパンを焼いてください。そうしても、あなたと息子さんの為に、十分なパンが焼けるはずですよ。と、神様が約束しておられます。お前のつぼから粉も油もなくなることはない。”そこで彼女は、言われた通りにしますと、どうでしょう。未亡人と息子は、いつまでも粉と油で作ったパンを食べることができたのです。(I列王記 17:8~15)

さて、テレビやラジオの伝道の働きは、水の上にパンを投げるような働きです。すぐに結果が出るようなものではありません。献金をささげても、教会にすぐに直接つながる働きではないでしょう。しかし、ずっと後の日になって、私たちは思わぬ時に、思わぬ場所で、祝福の実を見ることになるのです。

ですから、これからも、私たちは、「水の上にパンを投げる」信仰の冒険をさせていただきますように。

「千葉ライフ・ライン事務局」からの とれたてホットニュース

感謝のいけにえを神に献げよ。あなたの誓いをいと高き神に果たせ。苦難の日にわたしを呼び求めよ。わたしはあなたを助け出し、あなたはわたしをあがめる。(新改訳 2017 詩篇 50 : 14, 15)

1. 引き続き番組放映継続のためお祈りください
毎週、放送伝道ができることをうれしく思っています。放送伝道にもSDGs(エスディージーズ:持続可能な開発目標)が与えられるよう、お祈りください。

諸教会が守られますように、お祈りいたします。人々を救い、助ける教会が支えられますように。

2. ライフ・ラインCMを募集します。

ライフ・ラインで教会案内をしてみませんか。CM料金は、毎月、案内は1回4000円、教会案内と番組放映の維持の働きをいたします。

よろしく、お願いいたします。

お申込み、お問い合わせはホームページから、あるいは、090-6709-0726山本進、または事務局へ。

3. 事務局より

暑中お見舞い申し上げます。ニュースターが発行される7月第3土曜日は、梅雨明け最初の週末となりました。これからは熱中症対策も必要になります。コロナ禍の中にあつて、不自由を強いられている方も多いと思います。チバテレ土曜あさ7時から30分が、多くの方の安らぎタイムとなりますようお祈りください。ライフ・ラインの祈り会も8月(と12月)は各自遣わされた場所での祈りとなります。通常第2火曜日10:30からみことばをいただき、心を合わせ共に祈ります。その後運営委員会が持たれます。視聴者が増やされますように、経済的な必要が満たされますように、と共に番組継続の為に必要な人材が与えられますよう、共にお祈りください。

放送レスポンス状況

毎週放送のレスポンス

6月 千葉34通(初めてお便り 3通)

聖書通信講座

6月は、1名の方が修了し、現在受講は4名です。お祈りください。在主(山本)

<2021年9月の千葉ライフ・ライン祈り会>

9月14日(火)午前10時半~12時 の予定
千葉クリスチャンセンター(CCC)ビル3F
(〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2
連絡先 TEL 043-247-3058 事務局)

<奉仕とお交わり>

8月21日(土)午後1時から、千葉クリスチャンセンタービル3F、税理士法人グローリア足達会計事務所(Tel043-243-8001)でニュースター発送を行います。毎回のご奉仕感謝です。

<6月のおたよりから>



(1週目)・いつかヒュッゲの靴をオーダーで作ってもらいたくなりました。また、パイブルコーナー

の御言葉が心に響きました。コロナ禍でも守られていると信じて毎日を過ごしていきたいと思えました。カタログギフト「たらんと」贈り物にも喜ばれそうで関心があります。詳しく知りたいなと思えました。

・イザヤ書のみことばは、私も数えきれない程励ましと慰めを受けた箇所です。理学療法士から靴職人になられた荻野さんの半生を伺って、神様の導きの確かさに感謝します。

(2週目)・コロナ禍の閉塞状況にあつて、明日に向かって立ち上がることの出来た原田牧師のメッセージでした。チェロとピアノの「神ともにいまして」が心に沁みました。

(3週目)・子育てや、家族関係で悩んでいる方が多いです。またコロナDVも増えている時代にぴったりの内容でした。ノンクリのお父様のアドバイスには感動しました。優しさの中に親としての権威を示すことの大切さ、また子育てが終わって自立した子どもとの関係で、後悔をしている親の相談さえ聴いていただけることにほっとするものを感じました。私も悩みの相談を受けることがあります、励ましをいただきました。

(4週目)・私も病の中にあり、岩渕夫妻の祈りや賛美が励ましになり、癒しになります。

<あとがき> 熱海の土石流はたいへんです。亡くなられた方を痛みます。捜索の方、復旧作業をされています方、お疲れ様です。昨今の集中豪雨は想定外の被害をもたらします。試みにあわせないでください。(山本)

【 祈 り 】 番組制作・必要の満たし・視聴者の増加とたましいの救いのために